

なかしべつ

議会だより



活力みなぎる緑の郷土 なかしべつ

- 平成20年12月定例議会 ②
- 一般行政報告・教育行政報告 ③
- 一般質問 ④～⑨
- 決算審査特別委員会 ⑩
- 第5回臨時会 ⑪
- 各委員会活動レポート ⑫
- 人権擁護委員の推薦、東京・札幌中標津会 ⑬
- 行事関係 ⑭

平成21年 1月

No. 80

陽春の朝日に輝く木々

12月定例議会で決まりました

平成20年12月8日から12日まで開催し、
議決された主なものをお知らせします。



◇一般会計補正予算

1億1683万円を追加し124億5117万円となりました。

◇国民健康保険事業特別会計補正予算

1285万円を追加し25億7922万円となりました。

◇病院事業会計補正予算

収益的収支の収入を112万円減額し33億8416万円へ、支出を4123万円増額し38億7460万円へ、資本的収支の収入を194万円増額し1億9486万円へ、支出を222万円増額し2億7908万円となりました。

◇水道事業会計補正予算

収益的収支の支出を208万円減額し3億8346万円へ、資本的収支の収入を73万円減額し6626万円へ、支出を957万円減額し2億2725万円となりました。

◇下水道事業特別会計補正予算

385万円を減額し16億6108万円となりました。

◇簡易水道事業特別会計補正予算

3140万円を減額し2億9362万円となりました。

◇介護保険事業特別会計補正予算

595万円を減額し11億5190万円となりました。

◇町営牧場特別会計補正予算

5万円を追加し6191万円となりました。

条例の改正・制度が提案され 議決されました

(主な内容を掲載します)

◇中標津町国民健康保険条例の一部を改正する条例制定

健康保険法施行令第36条の規定を勘案し、必要があると認めるときは、規定の定めるところにより、これを3万円を上限として加算する。

条例は平成21年1月1日から施行

◇町立中標津病院使用料及び手数料条例の一部を改正する条例制定

妊婦健診料

3000円を4500円に改定する。

人口妊娠中絶

3カ月まで7万8000円を6万円に、4カ月まで9万4000円を8万円に改定する。

分娩介助料

現行8万円を15万円(時間外・休日・深夜・双胎は除く)に改定する。

新生児介補料

1日3000円を4000円に改定する。

◇釧路・根室広域地方税滞納整理機構規約の一部変更

機構の補助職員を関係町村の会計管理者に変更、現行の機構の構成に別海町、中標津町を追加する。

◇中標津町税条例の一部を改正する条例制定

第34条の7の第1項第9号に掲げる寄附金の区分を控除対象寄附金を社会福祉法人中標津町社会福祉協議会に対する寄附金・社会福祉法人中標津朋友会に対する寄附金・社会福祉法人中標津有隣福祉会に対する寄附金に改める。

◇中標津町土地開発公社定款の一部変更

「民法第59条」を「公有地の拡大の推進に関する法律(以下「公拓法」という)第16条第8項」に改める。

第17条第1項第1号イ中「公有地の拡大の推進に関する法律」を「公拓法」に改める。

この定款は、知事の認可の日から施行する。

◇中標津町議会会議規則の一部を改正する規則制定

目次中「第15章全員協議会」を「第15章全員協議会及び正副議長、正副議長・常任委員長会議」に改める。

全員協議会は、議員の全員で構成し、議長が招集する。

正副議長、正副議長・常任委員長会議は、正副議長、正副議長・常任委員長で構成し、議長が招集する。

一般行政報告



要請等について

根室地方総合開発期成会として自由民主党第7選挙区要望懇談会において、酪農・畜産振興対策の推進、道路網の整備、北方領土問題、地域医療に対する支援対策などを要請した。

北方領土隣接地域振興対策根室管内市・町連絡協議会として、佐藤内閣府特命担当大臣が来根の際、地域振興と返還運動推進のための財源対策、北方四島医療拠点としての機能整備と充実などについて要請、また東京都心部で街頭行進を行い、麻生首相、内閣府外務省に対し、領土問題解決に向けた要望をした。

中標津空港利用促進期成会として全日本空輸(株)本社において、新千歳便の早期復元、東京便の復便化、航空料金の低減などを要請した。

寄贈品について

町に対して現金で5件、47万9786円、物品で5件の善意が寄せられました。

北海道教職員組合

「時間外勤務手当等請求事件」について

平成14年12月から平成20年8月までの長期にわたる時間外勤務手当等請求事件は、原告側の請求を裁判所が棄却し、幕を閉じました。

教育行政報告



芸術文化振興事業について

第61回中標津町芸術文化祭

を10月16日から34日間開催。芸能発表会は民謡・舞踊・マジック・演劇・音楽など31団体の出演、同時に合同華展とお茶会も行われ、総合展覧会は陶芸・手芸・木工など31団体・7個人が出品、展示されました。

文化バザーは文化サークル・個人が12の店を出し作品を販売、絵手紙体験や手打ちそばの食事コーナーも実施。中標津書道公募展、なかしべつ美術展も関連事業として実施。

第26回計根別芸術文化祭は

中標津空港の

利用状況について

平成20年度上半期における利用状況は、東京便で5万2463人、札幌便で4万3040人、搭乗率は東京便62・92%、札幌便が70・51%でした。

平成20年度建設工事の

発注状況について

発注計画は件数175件、金額29億7224万円で、全て発注を終えました。

各種大会出場結果について

第75回NHK全国学校音楽コンクールに中標津小学校・丸山小学校両合唱部が出場、

銀賞を受賞。

20年度ななかまど杯第14回北海道小学生バレーボール大会に計根別ユニオンズスポーツ少年団が、はまなす国体記念第19回ふかがわカップ全道小学生バレーボール大会に丸山ファイターズ少年団、第15回北海道中学校新人陸上競技大会に、広陵中学校から女子2人、第24回北海道高等学校新人陸上競技大会に中標津農業高校から男子1人が出場。

第29回日本スイミングクラブ協会ブロック対抗水泳競技大会に中標津東小学校6年女子が出場、50mバタフライで2位、100mで第5位、50m自由形で6位入賞、中標津中学校1年女子も200m背泳ぎに出場、トラック協会杯第20回全道少年団アンダー11サッカー大会に中標津サッカースポーツ少年団が出場し、第3位、第24回北海道ユースアンダー14サッカー大会に中標津中学校が出場、20年度北海道卓球選手権大会カデットの部に中標津中学校が個人戦に出場、それぞれ健闘しました。

各賞受賞について

中標津小学校は根室管内からただ1校第33回刷新教育活動賞を受賞、副賞として30万円を授与、計根別中学校は第

24回教育奨励賞を受賞、中標津農業高等学校農業クラブは第10回朝日のびのび教育賞を受賞、副賞として70万円授与、第16回いきいき活動奨励賞では上位の優秀活動賞に3部門とも入賞し、さらにエコジャパンカップ2008市民が創る環境の町「2008」において最高位の大賞を受賞、また「わが村は美しくー北海道」運動第4回コンクール(人の交流部門)において銀賞を受賞、第59回日本学校農業クラブ全国大会において、農業鑑定部門の畜産の部で3年男子が優秀賞に入賞。

東京農業大学生物産業学部との相互協力協定締結について

農業高校生徒の募集について東京農業大学の指定校推薦枠をもつてすすめ、相互の連携を強化しては如何かとの協議があり、相互協力の内容がまとまり、同大学、町、教育委員会、農業高校の四者で相互協力協定の調印式を実施しました。



一般質問

町政を問う



12月定例会では7人の議員が11問の質問をしました。

理事者から、それぞれ答弁がありましたので要約し掲載いたします。

酪農における糞尿処理

柴野忠征 議員

国に機会あるごとに要望を行う

町 長

質問



前議会にて「牛の糞尿の臭気対策

と利活用について」質問した際、「糞尿全量の農地還元」の回答があり具体的な取り組みを。

中標津町で飼育されている乳用牛などは4万5000頭を超え、前年比4000頭以上が増

え、400頭を超えて飼育している酪農家は両農協で6戸を数え、100万tの糞尿が排せつされ、草地面積からして全量還元は不可能と考え、ha当り散布量・行政指導はどうなっているのか。

過剰な糞尿処理対策として、深さ10m、幅100m程にビニールなどを敷いた溜め池施設が見受けられるが、危険性が高く、関係機関と連携し行政指導をすべ

きであり、国策で大型酪農を推進したのであれば施設設備費など国家負担を求めるべきではないか。

町長答弁

「家畜排せつ物の管理の適正化及び利用促進に関する」法律で、糞尿の処理施設などの補助事業で集中的に行うとし、本町でも農協を中核に、糞尿処理施設整備などを計画的に進め、現在100%整備完了しました。

糞尿の全量農地還元では、散布量は牧草畑でha当り約30t、圃場で約60t、デントコン畑で

約60tが可能で、本町の耕作面積では全量農地還元が可能です。糞尿処理対策としてシートラグンは極めて危険性が高く、安全な場所、柵など必要と考えます。

国への施設設備費については総合的に判断し、機会あるごとに要望を行っていきま



農業経営安定緊急対策

弾正原 正議員

両農協と協議し検討します

町 長



質問

当町の
基幹産業
である酪
農・畑作

農家は、生産資材の高騰によりかつて経験したことのない大きな打撃を受けており、最終精算においては平成19年度と比較し、さらに負債整理資金の対応が増加するようと思われる。

このような中、蘭越町では経営面積に応じ平等に数量が決定されている農業用免税軽油の購入経費に対し、対象農家300戸に対し1ℓ当たり20円の助成、金額1千312万円が補正予算化されております。

今年度乳価の期中改定交渉の結果、プール乳価で生乳1キロ当たり5円30銭の引き上げを乳業メーカー各社と合意に達して

おり、全国市町村の中で第二位の乳量を誇る当町においても、何らかの緊急支援対策を実施する必要があると思いますが、町長の考え方を聞かせ下さい。

町長答弁

農業情勢につきましては過去に類を見ない飼料価格や燃料費の高騰、加えて7月からは主要な化学肥料の平均価格が前年同月より60・8%値上げされるなど大変厳しい状況が続いております。乳価交渉も決着しましたが、実施は来年3月であり、現在の農業生産費の上昇及び今



後の生産費分を飲み込むことができないのか、不安が残るところです。農業の衰退は町の経済に大きな

影響を与えることから、国や道が行う緊急対策事業などを勘案し、両農協とも協議しながら農業経営の安定化に対する支援策を検討してまいります。

介護療養型医療施設

端 裕子 議員

既存施設の活用を検討中

町 長



質問

厚労省
は介護保
険が適用
される

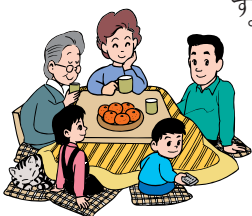
「介護療養型医療施設」を、平成23年度末で廃止する事を決定しました。介護福祉施設は、特別養護老人ホームと老人保健施設のみになり、当町では中標津りんどう園と医療法人の石田病院

になり、石田病院の療養病床60床が廃止になると、患者は一体どこへ行けばいいのか、在宅と言われても、いわゆる老老介護で共倒れになっている状況も報じられています。高齢者福祉を切り捨てる事なく、地域医療が崩壊する前に、国の方針にかかわらず、現存している施設と協力しながら方向性を出せる道もあるのではないのでしょうか。

町長答弁

国は平成23年度末で介護療養型医療施設を廃止し、療養病床の再編を決定しました。当町には老人保健施設は設置されていないので今後、療養病床60床が廃止されると、国が転換を予定している介護老人保健施設やケアハウスの整備をしなければなりません。町が老健施設を新たに整備することは、財政上厳しい状況ですが、少なくとも石田病院の60床入所者の処遇は確保しなければならず、現在第4期介護保険事業計画策定中であり、

石田病院自体が今後、療養型医療施設の療養病床を改修し、老健施設として検討していくのか状況を極めて上で、既存施設を活用して、町と民間との協働した機能を生かすことも大切な事と考えています。石田病院を含め、他の介護施設などとも十分協議して可能性を模索検討してまいります。



中標津農高体育館の新築・施設・設備の充実

後藤一男 議員

第6期中標津町総合発展計画で

教育 長



質問

町立農業高校は創立以来59年の長期にわたり農業後継者、また農業の理解、協力者として創造・忍耐・努力の校訓のもと2294人の生徒が卒業し、各方面で活躍されています。

食育学校を生徒自らが農業実

践学習をととして企画、実施し、地域からも高い評価を得ており、学校農業クラブ全国大会に於いても素晴らしい成績を残したことは、生徒ひとり一人がしっかりとした考えに立って教育を受けているからです。

体育館は築40年近くになり老朽化が進み、特に冬期間においては厳しい条件の中での運動を強いられています。健全な精神

教育長答弁

は健全な肉体に宿るといわれます。一日も早い時期に体育館の新築と実習施設の整備を望みます。生徒達は今、農業を理解しいろいろな実習に取り組み成果を上げています。それらの製品に更なる付加価値を付け、ブランド化に向けての実習設備の充実を計るべきと思います。教育長の考えをお聞かせ下さい。

農業高校は、本町の基幹産業であります農業・酪農経営など専門教育を施し、農業後継者を養成することを目的としており、

計根別地区に於いて農業高校が中心となり幼・小・中学校を対象に食育学校を実施し、広く高い評価をいただいているところ です。

生徒達の努力に第6期中標総合発展計画の中で体育館の改築と乳加工実習室の設置に向け、施設の充実を図ってまいります。



後期高齢者医療制度

石井初義 議員

体制を見据えて検討

町 長



質問

後期高齢者医療制度は、75歳以上

の人をこれまでの国民健康保険から脱退させ強制加入にしたうえで月額わずか1万5000円以上でも年金天引き、収入のない人からも保険料を徴収し、払えなければ保険証を取り上げる

という過去に例をみない非情な制度です。全国津々浦々から制度撤回、見直しを求める声が拡がっており、当町としても関係機関に廃止を求めるべきではないか。

この制度の導入に伴い、少ない自治体がこれまで実施していた高齢者の人間ドックの中止を余儀なくされた。このことを踏まえ、この程北海道後期高

町長答弁

この制度については国民の間には不信感が募っていることは認める。国の責任において、財源の裏づけが伴った制度設計を目指す。市町村に混乱が生じることのないよう然るべき検討を早急に行うよう、全国町村会において要請をしているところです。

次に本町で実施している国保人間ドックは30歳から69歳までを対象に実施しており、特に影響は出ていない。

75歳以上となると健康保険の区別なく実施する検討が必要であり、受診状況や受診機関の受入れ体制を見据えたい。えで検討していきたい。



母子家庭に対する児童扶養手当と自立支援制度

石井初義 議員

道に対し広報・周知の働きかけ

町 長

質問

母子世帯に支給されている児童扶養手当が、今年4月時点で5年以上受給している人について削減をされる。実際には求職証明書や医師の診断書などを提出すればこれまでどおり受給できるが、本来減額せず無条件に支給すべきと思うが、窓口での対応を含め減額となることのないよう周知を図るべきでないか。

母子家庭自立支援給付金として教育訓練給付金、高等技能訓練促進事業などがあるが、制度そのものがよく知られておらず、窓口となる福祉事務所の所在すら知らないケースもある。

役場窓口に簡単なパンフレットを備えておくなど、対象者への周知と相談に具体的に応じる方策についての考え方を聞きたい。

町長答弁

児童扶養手当の一部支給停止措置に伴い本町においては全受給者に対し通知文を送付し、現状届けの提出の際にも口頭で周知を図ってきており、現在のところ対応はできております。

次に自立支援給付金の役場窓口での対応ですが、本事業は北海道が実施する事業でもあり、パンフレットは数枚しか配付されていないため全員にお渡しする状況にはなっておりませんので、町としては制度の周知が必要な方にその度お知らせすると



ともに、北海道に対し広報、周知用のパンフなどを全員に配付できるよう働きかけていきたい。

非正規職員の正規化

石井初義 議員

全ての職種の正規化は困難

町 長

質問

今、構造改革の名のもとに、コスト削減を優先し、将来の事業縮小や民営化などを見据え、自治体職員の非正規化が進められている。

当町においても常勤の状態にありながら嘱託職員ということで、不安定な雇用条件のもとにある。住民との対応に関しては、正規も非正規もないのであり、

当町の特徴はこうした職員が、今、大きな評価を得つつある子育て支援事業の重要な一翼を担う児童館の常勤職員に集中していることである。速やかに改善するような手だてではないか。

町長答弁

自治体職員については、地方公務員法に基づき、本町でも嘱託員を任免して実行しているが、構造改革や地方分権の推進によ



り責任分担が増えてきているなかで歳入規模の縮小を余儀なくされており、全ての職種における正規化は大変難しいと考えているところです。児童館には9人の嘱託員がおり、本町の子育て事業は全国的にも高い評価をされていることは認識しています。しかしながら定員管理については「地方公共団体における行政改革のための指針」などにより、22年4月における数値目標を求められていることから大変な状況にあることをご理解賜りたいと存じます。

安心して学べる教育環境の整備

水石幸衛 議員

耐震化に向けて計画的に推進してまいります 教 育 長



質 問

学校は
児童生徒、
そして教
職員の方

が昼間の大半を過ごす場と共に、
地域住民の緊急避難場所になっ
ていることから耐震性の確保は
極めて重要です。

本町の耐震診断の必要な施設
すべて文部科学省が定めた、構

造診断指標に満たしていないと
伺っております。

今後の耐震補強工事の見通し
と、耐震診断の現段階の計画、
財政状況を踏まえた上でどう取
り組まれるのかお伺いいたしま
す。

また、耐震化推進計画の概要
が発表され、建物の耐震化だけ
ではなく天井や照明器具の落下、
収納棚の転倒などによる被害を

食い止めるため、日常的な点検
や補強を指摘されております。

安全対策についてこれまでの
取り組みと合わせ、今後の対策
をお伺いいたします。

教育長答弁

町立学校14校51棟内、昭和56
年以前に建設された学校の校舎
棟9校、屋内体育館10校34棟が
耐震改修の対象施設になってい
ます。

耐震化優先度調査を基に、今
年度は武佐小中学校の体育館を
診断、今後は鉄筋コンクリート
校舎の診断とブロック構造の耐



力度調査
を予定し、
結果を基
に工事を
計画しま
す。

校からの修繕要望を取りまとめ、
危険箇所や修繕箇所を確認し、
建物内外の改善整備を努めてお
り、学校との連携を一層強化し
て、安心・安全な学校づくりに
努めます。

町長と議会の更に進んだ関係

松村康弘 議員

徹底した情報の公開

町 長



質 問

議会に
おける論
議が形骸
化すると

「議会は町長が提案したから承
認した」「町長は議会が承認し
たから執行した」という事にな
り、結果が出た時には誰も責任
を感じない、負わないという事
態になりかねません。

議会における論議を実りある

ものにし、町長としてのイニシ
アティブを発現されていくため
にこの一般質問に対する答弁の
手順の中にも、政治家小林実氏
の指導力が明確に示される形を
研究されるべきではないでしょ
うか。

また、提案される各種の「計
画」について、議会の関与度を
増す事を検討なさいませんか。

町長答弁

次に政策評価を数値化して、
事前公表、事後評価を議会に対
して行う事が時代の要請だとお
考えになりませんか。

町政を預かる者として、職員
の先頭に立ち、町の発展を目指
して先導していくのが町長とし
ての役割と考え、特に議会との
関係について「徹底した情報の
公開」、特に財政状況について
積極的に説明責任を果たしてい
ります。

今後スタートする第6期総合
発展計画については新たな各計

画を体系化した上で議会に対し
て説明を行い、北海道と同様の
数値目標を設定した指標評価を
前提に計画策定していきたいと
考えます。

また、5期計画終了時の事後
評価については6期計画を策定
する上でも、平成13年から現在
までの実績を
解析する事は
重要な作業で
あると認識し、
報告いたした
いと考えてお
ります。



町の中心部にある文化会館
シルベットホールが多目的
に自由に使われています

町創り会社の創設とその企業理念の具現化

松村康弘 議員

今後の地方分権などによる新たな展開を検討 町

長

質問

百年に一度という経済危機に世界全体が見舞われています。

輸出が好況という事で人不足であった巨大都市で急激に失業者が増大していますが、有限の地下資源によって加速度的に成長する文明、そして高度情報システムによる金融バブルの崩壊を明確に予言しているエントロピーの法則にのっとり、真の全

ての生命達を輝かせるような生命の経済システムを具現化する

ような努力を我町は使命と自覚して、羅臼町の観光協会事務局長やサーモン科学館長のように人材をチームで募り、もっと地域振興の企画と実行をゆだね、その活動の象徴として旧開陽観光開発跡地に、小さくても国際会議場を構想する事ができないものでしょうか。

児童館の設置理念に対応するような「老人館」の創設

松村康弘 議員

施設や管理方法など模索 町

長

質問

急激な物価上昇の結果、年金暮らしのお年寄りの生活はとて大変なのですが、灯油の価格が下がりつつある今日でも日中の灯油を節約するために、民間や公共の空間で時間を過ごそうとされる方々がいます。

そんなお年寄りから提案いただいたのですが、放課後の子供達が自由に集まっている児童館

の設置理念に対応するような「老人館」というものは、創設

できないものだろうかという話です。

老人クラブに入らなくても、自由に集えるこの様な施設は既存の建物の弾力的な運用で実現が可能な新しい福祉のスタイルではなからうかと思いますが研究してはどうでしょうか。

町長答弁

グローバル経済がダイレクトに地域に影響を及ぼす時代となりましたが、地域の農業は、安全・安心な農産物を全国の消費者に提供し続ける事が最大の使命ではないかと考えます。

大都市の人々から「緑の環境都市」としての期待が高まってきている事に応える事も必要だと思います。

第3セクターによる「まちづくり会社」は、今後地方分権などによる新たな展開の中で検討してまいります。

町長答弁

高齢者の方々が生きがいをもち健やかな日常生活を送る事は大切で、介護予防事業の推進やシルバー人材センターや老人クラブへの参加があるところです



町民福祉の拠点プラットボレボレもあります



展望台より旧開陽温泉を望む

開陽台東方の旧開陽観光開発の温泉施設の民間提案による小規模な国際会議場への転用という構想につきましては、同地域の景観形成重点地域の意義を深く町民に問いかけながら研究してまいります。

が、町の公共施設でこれらの団体に参加せず、自由に利用できる施設では総合福祉センターや文化会館のホールなどはありませんが、いつでも自由に来館して利用できる施設は現状ではありません。

したがって、社会福祉協議会などが取り組んでいる町内会単位の「いきいきサロン」などでその進捗状況を見極めた中で、町としても施設や管理方法などについて模索してまいりたいと考えておりますので、ご理解を賜りたいと存じます。



平成19年度

各会計決算 認定審査

平成20年9月定例会において当委員会に付託された、平成19年度中標津町各会計の決算認定審査を次の通り実施したので報告いたします。

記

1 件名

平成19年度中標津町各会計
決算認定審査

2 審査月日

平成20年9月16日から11月7日までの5日間

3 審査結果

各委員より総計87件の質問を受け、決算認定に向け精力的に審査をいたしました。

予算の執行の結果、どのような効果を挙げたのかについての調査を主眼に行いました。

歳入にあたっては、各税の徴収に関して例年指摘をすることになりますが、今年度より採用された広域地方滞納整理機構への委託は、費用対効果が十分に現われています。

特に徴収率の悪い国民健康保険税は、税額の設定・徴収方法も合せ、予防医学の視点から町立病院や保健センター・民間の健康増進施設との提

携の中で対応を構築する必要を感じています。

歳出においては、各種補助金が期末に減額補正をする点については、補助制度をさらに使いやすく、地域に浸透する広報の必要性が指摘されているところ です。

将来の人材養成をめざして、北海道町村振興協会が実施している市町村職員海外派遣研修に毎年1人を派遣し、欧州の先端の思想と施策の具体的に学ばせていることを評価しますが、研修の報告を広く公開していただきたい。

昨年実施された福祉灯油は、当町においても再び実施される可能性が高いのですが、不用額が発生しており、支給対象者にきめ細かく対応していただきたい。

児童館の利用率は増大の傾向を見せ、地域の子供たちにさらに歓迎される取り組みが期待され、多目的機能を果たしている施設であり、放課後指導員の負担軽減、子育て支援室との連携なども視野に入れ工夫を期待します。

移住促進事業について、長

期滞在は道内有数の実績になっているが、移住希望者のニーズと提供できる環境にはギャップがあるのでないか。

不動産業者に期待するのではなく、町独自の農園付き住宅構想を打ち立て、移住者を増大させるよう努力願いたい。

公営住宅の運用については、入退去時・家賃未納時・保証人に対しまだ改善の余地あり、民間事業者を参考にし改善してほしい。

家畜糞尿臭気対策協議会の負担金201万円について、明確な効果にたどりついていない。現場の実例について情報提供の余地がある。

市街地道路簡易舗装工事費の施工現場選定は、道路整備5カ年計画策定時に各町内会長に要望路線の調査を依頼、路線を点数評価し緊急度の高い路線より順次実行し、パートナーシップで町づくりを目指すなら全過程を公開すべきではないか。

病院会計については、当年度純損失5億2846万円、累積欠損金の合計が30億8916万円に急増、医師の超多

忙で退職するケースもあり、病院のコンビニエンス化傾向に今後は啓発活動と医師確保、勤務医が居続けたい病院に全町挙げて模索する努力が求められる、予防医療の視点からホスピスケアなど患者が減っても成り立つ経営の姿、保健センターの予防検診の啓発などを組み合せる知恵が求められています。

財政の健全化に関する法律施行により、当町は赤字比率、連結赤字比率は出ていないものの、病院会計には不安要素もあり一層の努力が必要と思われる。

予算が執行されたかに重点をおいて審査してまいりましたが、予算編成時から縦割りの弊害が感じられ、部局間を横断するような各部長職に置かれましては、この点に深く留意し予算編成、執行に努めていただきたい。

達成目標を数値化し、政策課題の達成に向けた努力の跡が見受けられます。

このたびの平成19年度中標津町各会計決算は適正であると認め認定します。

第5回臨時会

(平成20年11月10日)

◇平成20年度中標津町一般会計補正予算(第5号)
中標津広陵中学校アスベスト除去工事費として、
国庫補助費4000万円を含む6000万円の一般会計補
正予算を追加し123億3434万円となりました。

第1回臨時会

(平成21年1月14日)

◇町道路線の認定及び廃止
町道新設7路線、起点終点変更
のための3路線の廃止と新たな
認定、合わせて10路線を認定した。



凡	例
	町道認定路線
	町道廃止路線

根室地方森林・林業・林産業 活性化推進議員連盟協議会研修会



平成20年10月9日、1市4町の林活議員連盟の森林視察が根室市農林課の案内で「根室市民の森」を、根釧東部森林管理署の案内で「イチイの群生林」を対象に行われました。



根室市民の森は森林とのふれあい、緑に親しみ、自然と共に生きる心を育むをコンセプトに市民参加の植樹祭や各団体が植樹するなど市民と協働の森づくりを目指し、12年間で2万6000本の植樹をしました。

イチイ純林保護林は天然のイチイが70%の高密度で混生し森林の上層に形成し、特異な群落として学術的価値が高いことから平成10年に5haが「森林と人とが共生林へ自然維持タイプ」として原則禁伐など、人の手を加えない保護林に設定されました。

私達も改めて自然のすごさと緑の大切さを学んだ一日でした。

常任委員会

活動レポート

議会には3つの常任委員会があります。
定例会から次の定例会が開催される間を「閉会中」といい、各常任委員会は
この間を活用し、所管する事項の調査をしています。
主な調査事項を報告します。

総務文教常任委員会

- 調査内容
- ・ 釧路、根室広域地方税滞納整理機構について
 - ・ 町財政の現状
 - ・ 学校施設のアスベスト含有建材製品の使用について
 - ・ 学校給食費の改定について
 - ・ 農業高校の受賞状況

町税条例と収納状況

(総務部)

・ 町が条例により指定することができる寄附金の寄付金控除対象を、町内に主たる事務所を有する法人または団体に対する寄附金とする案が提案された。

・ 20年度9月末までの町民税などの納入額が、前年同時期を若干上回っていることが報告された。

・ 地方税整理滞納機構での実績は厳しい対応により、効果が上がっていることが報告された。

・ 国の厳しい財政状況と21年度町予算編成方針が示された。

(教育委員会)

・ 学校施設でのアスベスト含有建材製品の使用の現状、取り組み（早急な除去工事、職員・保護などへの対応）が提示され議論した。

・ 11月20日の委員会は教育委員との懇談もあり、給食センターより、食材の高騰等で21年度給食費を改定せざるを得ない方向性が示され議論した。

また、農業高校の各賞の受賞報告を受けた。



厚生常任委員会

- 調査内容
- ・ 福祉灯油について
 - ・ 町立中標津病院について

福祉灯油など

(町民生活部)

昨年末補正計上された福祉灯油は1月23日までに最初の取りまとめを行なう事を目標に、窓口での受付を行なっています。高齢者の一人世帯、障がいを持つておられる方、一人親世帯の中で、非課税世帯の方が対象ですが、該当する町民の皆様にもれなくお届け出来るよう部局と議論した。



(町立中標津病院)

病院の運営は医師の研修医制度の影響を受け慢性的な医師不足の続く中、厳しい状態が続いており、結果として計上された赤字の補正に同意しておりますが、新年度に向け整形外科をはじめとして、明るい兆しが見えており、町民の皆様の期待にこたえる中核病院としての役割を果たせると報告を受けた。

産業建設常任委員会

- 調査内容
- ・ 中標津町東小学校校舎増改築工事の進捗状況について
 - ・ 空港利用状況について
 - ・ 第5期道路整備5カ年計画について

中標津町運動公園整備状況

中標津町運動公園整備の



事業は、平成14年度に着手し、15年度には管理棟、スปีド及びアイスホッケー

のリンク、17年度から18年度で球場2面を整備、19年度から球場2面の整備を行い21年度での供用を予定し工事が終了。

(事業期間：平成14年度～20年度、計画面積：23・7ha、総事業費：18億9000万円)

東小学校工場の工事現場



東小学校工場の工事現場では、係員からの説明では基礎鉄筋型枠工事施工中で、完了後型枠取り外

し、全体工事は概ね工程どおりで進捗率は17%となった。

空港の利用状況



空港の利用状況は4月から9月上旬で、東京便は5万2463人（搭乗率62・92%）、札幌便で4

万3040人（搭乗率70・51%）となっており、今後とも利用客の増加に向けての対策が重要とのこと。

第4期道路整備5年計画の進捗状況

第4期道路整備5年計画の進捗状況を踏まえ、第5期計画について協議し要望調整の結果を踏まえ、重要性・地域性などを考慮されており、目標設定がされていることでこれを承認。併せて、南9丁目通りなどの工事を現地視察した。



人事案件

人権擁護委員の推薦について意見を求められましたので同意しました。



氏名 上原 房子 氏

住所 中標津町西町7丁目12番地1

生年月日 昭和22年9月15日

任期 法務大臣の委嘱の日から3年間

中標津町選挙管理委員会委員及び補充員を選出する

◇選挙管理委員会委員

・ 斎藤 法栄 氏
・ 豊田 高明 氏
・ 若狭 満江 氏
・ 渡邊 安二 氏

◇選挙管理委員会補充員

・ 鈴木 勝也 氏
・ 佐藤 擴 氏
・ 大山 敏彦 氏
・ 池田 美代子 氏

◇任期は平成20年12月23日より平成24年12月22日までとなっています。

東京中標津会（11／22）

首都圏在住の中標津町出身者でつくる東京中標津会（小山昌志会長）の第21回総会が、11月22日東京八重洲フジヤホテルで開かれ、会員約100人がふるさとの話を花を咲かせていました。

懇親会では、小林実町長から8月に町長と町議会議員選挙が行われ、私が新しい町長になりましたとの自己紹介と町の近況などの報告がありました。



札幌中標津会（11／24）

本町出身者やゆかりの人達が集まり構成されている札幌中標津会（佐々木純会長）の第19回総会と、懇親会が11月24日札幌パークホテルで開かれました。

懇親会では、小林町長から北海道植樹祭が中標津町運動公園内で行われたなどの町の近況報告を紹介していました。



平成20年10月から12月までの行事関係

期 日	行 事	出 席 者	期 日	行 事	出 席 者
10月 1 日	産業建設常任委員会	6 / 6	11月 6 日	産業建設常任委員会	6 / 6
1 日	行政視察来町（神奈川県愛川町議会）	議 長	7 日	決算審査特別委員会	7 / 7
2 日	議会広報特別委員会	5 / 5	10日	第5回臨時議会	18 / 18
3 日	総務文教常任委員会	6 / 6	14日	中標津ソフトボール協会30周年記念式典・祝賀会	議 長
7 日	根室支庁管内町村議会議員研修会（中標津町）	議 長 他 員 16 議 員	15日	中標津ロータリークラブ創設50周年記念式典・祝賀会	議 長
8 日	議会広報特別委員会	5 / 5	19日	第52回町村議会議長会全国大会（東京都）	議 長
9 日	根室地方森林・林業・林産業活性化推進議員連盟協議会研修会（根室市）	林 活 副 会 長 他 6 議 員	20日	総務文教常任委員会	6 / 6
10日	行政視察来町（北海道大空町議会）	議 長	22日	東京中標津会（東京都）	議 長
11日	釧路新聞中標津支社開設40周年記念祝賀会（中標津町）	議 長	24日	札幌中標津会（札幌市）	議 長
14日	第4回臨時議会	18 / 18	27日	根室支庁管内町村議会議長会臨時総会（中標津町）	正 副 議 長
14日	議会運営委員会	6 / 6	28日	北海道町村議会議長会正副会長会議（札幌市）	議 長
14日	議会広報特別委員会	5 / 5	12月 1 日	北方領土返還要求行進（東京都）	議 長
14日	国後島・択捉島地区長他表敬訪問	議 長	2 日	中標津空港利用促進期成会による全日空本社への要請（東京都）	議 長
16日	行政視察来町（北海道名寄市議会）	議 長	4 日	議会運営委員会	6 / 6
17日	厚生常任委員会	6 / 6	8 日	12月定例会第1日目	18 / 18
17日	3合同常任委員会（根室北部廃棄物処理広域連合施設他視察）	10 / 10	9 日	厚生常任委員会	6 / 6
18日	中標津町観光協会創立50周年記念式典・祝賀会	議 長	9 日	産業建設常任委員会	6 / 6
20日	決算審査特別委員会	7 / 7	10日	総務文教常任委員会	6 / 6
20日	議会広報特別委員会	5 / 5	11日	議会運営委員会	6 / 6
21日	決算審査特別委員会	7 / 7	12日	12月定例会第2日目	18 / 18
22日	決算審査特別委員会	7 / 7	15日	歳末特別警戒地域・交通安全出動式	議 長
24日	行政視察来町（熊本県小国町議会）	議 長	19日	議会広報特別委員会	5 / 5
11月 4 日	厚生常任委員会	6 / 6	24日	議会広報特別委員会	5 / 5
5 日	総務文教常任委員会	6 / 6	29日	議会広報特別委員会	5 / 5

※出席者欄の数字は左側が出席者、右側が定数

議会からのお知らせ

「議会を傍聴してみませんか」

議場には傍聴席が30席あり、先着順に議会傍聴できます。傍聴者には参考資料を配布し、議会の取り組みが理解できるよう対応しています。一人でも多くの方々に傍聴していただきたく、ご案内します。

その他、議会に対する要望などがありましたら、議会事務局に、お申し出ください。

議会だよりに対する
ご意見をお寄せ下さい。

〒086-1197

北海道標津郡

中標津町丸山2丁目22番地

中標津町役場

TEL(0153)73-3111

FAX(0153)73-5333

〈議会事務局にご連絡を〉

- ・ホームページは
<http://www.nakashibetsu.jp>
- ・メールは
nakasi-t@arens.or.jp

発行／中標津町議会

編集／中標津町議会広報特別委員会

皆様、新年明けましておめでとうございます。
昨年一年の世相を表わす漢字一文字が「変」という字でした。食の安全、安心が脅かされたことや、全世界を巻き込んだ金融破綻がおこり日本経済全体が100年に一度ともいわれる危機に直面しています。
我町でもそのことがボディーローのように影響してくることが心配されます。
議会におきましては、19年度各会計決算認定を行う特別委員会を設置し、5日間の審議を重

ね認定することを決議しました。なお一層の無駄をなくし、効率の良い町財政運営に心がけるよう提言してまいります。
議会としましては、町民の皆様への付託に応えるべく、最大限の努力をし、一緒に町づくりをしてまいります。
今年も議会に対してご意見ご提言がありましたらお聞かせ下さい。
町民の皆さまのご多幸とご健康を切に願ひ、今年一年が平穏でありますよう心からお祈り申し上げます。

編集を終えて